

Title	Krull ノ 豫想ニツイテ, II
Author(s)	中山, 正
Citation	全国紙上数学談話会. 233 p.852-p.859
Issue Date	1942-03-18
oaire:version	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/74950">https://doi.org/10.18910/74950</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

1019. Krull の豫想 = シイテ, II

中 山 正 (阪大)

I = オイテ Krull の豫想 / べくとる 束 / 場合 (ソノ

場合ハサウナルト予想シタノデハナカッタモ知レマセンガ)  
 ノ反例ヲ述べタ、次ニ Krull ノ豫想ノ本来ノ場合即チ整域  
 ノ場合ニツイテ反例ヲ述べヨウ。即チ *vollständig*  
*ganz-abgeschlossen*<sup>1)</sup> デシカモ *spiegelte Bewertungsringe* ノ *durchschnitt* トシテ表ハサレ  
 タイ様ノ整域ヲ作ル。ソレニハベクヒる束ニオケル反例ニ依  
 存シテ次ノ様ニ構成ヲスル: ( $\mathbb{I}$  ニ於ル如ク)

A ヲ *Complete* ナブーロ束デ  $\mathbb{I}$  ニオケル条件ヲミタス  
 モノ、即チソノ表現空間  $\Omega$  (完全不連結且ツびこむばくヒ)  
 ニオイテ  $\Omega$  ノ任意ノ一点ニ對シテ其処デ  $\log$  カニ  $+\infty$  ニナ  
 ヲツテ *nowhere dense set* ヲノゾイテハ有限値ヲトル連  
 続函数が存在スル様ニナツテキルモノデアアル。

然ルトキ  $\Omega$  ノ上ノ連続函数デ *nowhere dense set*  
 ヲノゾイテ有限ナルモノノ全体ガーツノあるきめです的べく  
 ヒる束ヲナシ、シカシソレハ如何ナル空間ノ有限値ノ函数ノ  
 束ニヨツテモ同型ニ表現サレナイデアアッタ。

サテ、実数ヌハ  $\pm\infty$  値ノ函数トサズ、(正ヌハ負人ハ)  
 1) 整数及ビ  $\pm\infty$  ノ値ヲトル連続函数 デ而モ  $\pm\infty$  ニナル  
 ハ *nowhere dense set* ノミナルモノノ全体ヲ考ヘレ  
 バコレガヤハリ 束群 ニナルコトハ明カデアアル(上述ノ部分束  
 群)、勿論あるきめです的デアアル。サテ我々ノ空間  $\Omega$  ノハ  
 ヲノ任意ノ点ニ對シテ、ソコデ  $+\infty$  ニナル、コノ様ナル数ガ  
 實際存在スル。

1) 即チ Artin ノ意味デ *ganz-abgeschlossen*。

ソレハ  $I$  デ實際作ツタ函数ハ整数又ハ  $\pm\infty$  ノミヲトル  
 モ、デアツタ。ヨツテ  $I$  = 於ケルト全ク同様ニシテコノ束群  
 モ如何ナル空間ノ有限実函数ノ束群デ同型ニ表ハサレナイ。

我々ノ空間  $\Omega$  ノ各点  $p = \text{abstract}$  = ツノ変数  
 $x_p$  ヲ對應サセル。任意ニツノ体  $K$  ヲトル。  $\Omega$  ノ有限  
 個ノ点  $\{p_1, \dots, p_s\}$  ヲ考へ、ソレニ對應スル変数  $x_{p_1},$   
 $\dots, x_{p_s}$  ノ  $K$  = 於ケル多項式  $F(p_1, \dots, p_s)$  多項式ト  
 デモ呼ブ。  $\{p_1, \dots, p_s\}$  ノ部分集合  $\{p_1, \dots, p_t\}$  ヲト  
 リ。  $(p_1, \dots, p_s)$  多項式  $F(p_1, \dots, p_s)$  及ビ  $(p_1, \dots, p_t)$  多  
 項式  $F(p_1, \dots, p_t) = \text{オイテ}$ 、前者 = オイテ  $x_{p_{t+1}} = \dots$   
 $\dots = x_{p_s} = 1$  トオイタ時ニ後者 = ナル場合ニ、コレヲ

$$F(p_1, \dots, p_s) \gg F(p_1, \dots, p_t)$$

トデモ書クコトニスル。

次ニ  $\Omega$  = オケル 多項式列  $\{F; P\}$  ヲ次ノ如ク定義  
 スル：  $\Omega$  = オケルツノ第一種集合  $P$  ガアツテ、 $P$  = 属サ  
 ス任意ノ有限個ノ点  $p_1, \dots, p_s$  = ハ常ニツノ  $(p_1, \dots,$   
 $\dots, p_s)$  多項式  $F(p_1, \dots, p_s)$  ガ對應シテ居リ、而シテ  
 $\{p_1, \dots, p_s\} \supseteq \{p_1, \dots, p_t\}$  ナラバ常ニ  $F(p_1, \dots, p_s)$   
 $\gg F(p_1, \dots, p_t)$  トナツタキルトスル、カナル system  
 ヲ多項式列トヨビ  $\{F; P\}$  デ表ハス。

ニツノ多項式列  $\{F; P_1\}, \{G; P_2\}$  = オイテ  $P_1 \cup P_2$   
 ヲフクムアル第一種集合 = 属サス  $p_1, \dots, p_s$  = 對シテハ對應  
 スル多項式ガ同一デアアルナラバ、コレヲ兩列ハ同値デアルト  
 見テ、以下同一視スルトスル。

又,  $P_1 \cup P_2 =$  對應シ、ソレニ属サヌ  $P_1, \dots, P_s =$  對シテハ  $F(P_1 \dots P_s) + G(P_1 \dots P_s)$  が對應シテキル多項式列 (コレが上記 i), ii) マミタスコトハ明カ) マ多項式列  $\{F; P_1\}, \{G; P_1\}$  ノ和ト定義スル。積ニツイテモ同様ニスル。

コレニヨツテ多項式列 (ノ類) ノ全体  $R$  ガーツノ環ヲナスコト明カデアアル。更ニ整域ナルコトモ明カデアアリ。

コノ  $R$  ハ vollständig ganzabgeschlossen デアル。即チニツノ多項式列  $\{F; P_1\}, \{G; P_2\}$  及ビ  $0$  デナイ  $\{H; P_3\}$  がアツテ、スベテノ  $\nu = 1, 2, \dots =$  對シテ  $\{F; P_1\}^\nu \{H; P_3\}$  が  $\{G; P_2\}^\nu$  デ割りキレルナラバ  $\{F; P_1\}$  ハ  $\{G; P_2\}$  デ割りキレル。即チスベテノ  $\nu =$  對シテ  $\{F; P_1\}^\nu \{H; P_3\} = \{G; P_2\}^\nu \{K^{(\nu)}; P_4\}$  ナル多項式列  $\{K^{(\nu)}; P_4\}$  がアルナラバ  $\{F; P_1\} = \{G; P_2\} \{L; P_4\}$  ナル  $\{L; P_4\}$  がアル。

(ノノ証明) コノ假定ガミタサレテキルトスル。

$P_1, P_2, P_3$  及ビスベテノ  $P^{(\nu)}$  (ソレヲノ *join* モ勿論第一種集合デアアル) ノスベテヲフクム適當ニ第一種集合  $P$  ヲトレバ、ソレニ属サヌ点ノ有限集合  $P_1, \dots, P_s =$  對シテハ常ニ  $F(P_1, \dots, P_s), G(\dots), H(\dots), K^{(\nu)}(\dots)$  が對應シテ居テ常ニ

$$F(P_1 \dots P_s)^\nu H(\dots) = G(\dots)^\nu K^{(\nu)}(\dots)$$

トアツテキル。

サテ  $\{H; P_3\}$  ハ假定ニヨリ  $0$  デナイ。マタ  $\{G;$

$P_2$  } が 0 ノ トキ (従ッテ  $\{F; P_1\} \in O$  デアル) ニハ主張  
ハ自明デアルカラ、以下  $\{G; P_2\} \in O$  デナイトスル、ヨッ  
テ  $P =$  属サヌ適當ナ  $p_1, \dots, p_s$  ヲトレバ  $H(p_1, \dots, p_s)$   
 $\in G(p_1, \dots, p_s) \in K = O$  デナイ、コノ様ナ  $p_1, \dots, p_s$   
ヲ臨時ニ固定シテ考ヘル。

$\{p_1, \dots, p_s\}$  ヲフクム  $\{p_1, \dots, p_r\} =$  対シテハ勿  
論  $H(p_1, \dots, p_r) \in G(p_1, \dots, p_r) \in O$  デナイ (多項式  
列ノ條件参照)、シカルニスベテノ  $V =$  對シテ  $F(p_1, \dots,$   
 $\dots, p_r)^V H(p_1, \dots, p_r) \wedge G(p_1, \dots, p_r)^V$  デ割リキ  
レルノデアアル。ヨッテ  $x_{p_1}, \dots, x_{p_r}$  ノ多項式  $F(p_1, \dots,$   
 $\dots, p_r) \wedge G(p_1, \dots, p_r)$  デ割リキレル;  $K[x_{p_1}, \dots,$   
 $\dots, x_{p_r}]$  ナル多項式域ハ *vollständig ganz-*  
*abgeschlossen* ナカラ!!

即チ

$$F(p_1, \dots, p_r) = G(p_1, \dots, p_r) L(p_1, \dots, p_r)$$

ナル  $(p_1, \dots, p_r)$  多項式  $L(p_1, \dots, p_r)$  が存在スル。シ  
カ  $\in G(p_1, \dots, p_r) \neq 0$  ナカラ一意的ニ定マル。而シテ  
 $\{p_1, \dots, p_m\} \supseteq \{p_1, \dots, p_r\}$  ナラ  $L(p_1, \dots, p_m)$   
 $\gg L(p_1, \dots, p_r)$  トナッテキル、ソレハ  $F(p_1, \dots, p_m)$   
 $\gg F(p_1, \dots, p_r)$  及ビ  $G$  ノ同様ナ關係ヨリ明カデアアル。

サテ  $P =$  属サヌ点ノ任意ノ有限個  $q_1, \dots, q_t =$  対  
シテハ  $q_1, \dots, q_t$  及ビ上記  $p_1, \dots, p_s$  ヲフクム ( $P$   
 $=$  属サヌ) 任意ノ有限点集合  $p_1, \dots, p_r$  ヲトッテ  $L(p_1, \dots,$   
 $\dots, p_r)$  ヲ考ヘ、ソコニ於テ  $q_1, \dots, q_t =$  属サヌ他ノ

変数ヲミナシトシテ生ズル所ノ  $(q_1, \dots, q_t)$  多項式ヲ  $L(q_1, \dots, q_r)$  ト定義スル. コレハ  $p_1, \dots, p_r$  ノトリ方ニ無関係ノコトハ上記ヨリ明カデアアル. 更ニ、 $\{q_1, \dots, q_u\} \subseteq \{q_1, \dots, q_t\}$  ノトキ  $L(q_1, \dots, q_u) \ll L(q_1, \dots, q_t)$  ナルコトニ明カデアアル. 何故ナラ  $L(q_1, \dots, q_t)$  ヲ得タ上デ更ニ  $x_{q_{u+1}}, \dots, x_{q_t}$  ヲ  $0$  ニスレバヤハリ  $L(q_1, \dots, q_u)$  トナルベキデカラデアアル.

ヨツテ、コノ  $L(\dots)$  ニヨツテ一ツノ多項式  $\{L; P\}$  ガ得ラレル. シカモ  $\{F; P_1\} = \{G; P_2\} \{L; P\}$  デアル. 何者、 $\{p_1, \dots, p_r\} \supseteq \{p_1, \dots, p_s\}$  ニ對シテハ

$$F(p_1, \dots, p_r) = G(\dots) L(\dots)$$

デアリ、シテガツテ変数ノ幾ツカラ / ニスル事ニヨツテ任意ノ  $q_1, \dots, q_t$  ( $\notin P$ ) ニ對シテモ  $F(q_1, \dots, q_t) = G(\dots) L(\dots)$  トナルカラデアアル.

ヨツテ我々ノ多項式列ノ環  $R$  ガ *vollständig ganzabgeschlossen* ナルコトガ証明サレタ.

サテ、初メニ考ヘタ東洋ノ元、スナハチ  $\mathbb{Z}$  ニオケル整数又ハ  $\pm\infty$  値連続函数  $f$  デアル *nowhere dense* set  $N$  ニオイテ /  $\pm\infty$  トナルモノヲ考ヘル. シカシテ  $f \geq 0$  ナル  $f$  ニ對シテハ、如キ多項式列ガ對應サセラレル、即チ  $N$  ニ屬サヌ  $p_1, \dots, p_s$  ニ對シテ

$$x_{p_1}^{f(p_1)} x_{p_2}^{f(p_2)} \dots x_{p_s}^{f(p_s)}$$

ヲ對應サセル様ナ多項式列デアアル. コノ多項式列ヲ簡單

$= \{x^f; N\}$  が表ハス、シカラバ

$$\{x^{f_1}; N_1\} \times \{x^{f_2}; N_2\} = \{x^{f_1+f_2}; N_3\}$$

デアルコトハ明カデアル。

而ノテ、ニツノ  $\{x^{f_1}; N_1\}, \{x^{f_2}; N_2\} =$  於テ  
苟若カ後若デ  $\mathcal{R}$  ノ中デ割リキレルノハ  $f_1 \geq f_2$  ナル時  
= 同コトハ  $\mathcal{O}$  ノ (両者カ有限ナ) 各点デ考ヘテミレバワ  
カル。

カク  $f \geq 0$  ナル  $f =$  ハ多項式列  $\{x^f; N\}$  カ對應スル  
カ  $\geq 0$  トカザラヌ一般ノ元  $f =$  對シテハ

$$f = f_1 - f_2 \quad (f_1 \geq 0, f_2 \geq 0)$$

トレテ  $\mathcal{R}$  ノ商体 = オケル  $\{x^{f_1}; N_1\} / \{x^{f_2}; N_2\}$  ヲ對  
應サセル、コノ  $f_1, f_2$  ノトリ方 = 無關係ナ  $f$  ノミデコ  
ノ商カキマルコトハ勿論明カデアル。カクテコノ對應 = ヨリ  
我々ノ束群 (加法ヲ書イタガ) が  $\mathcal{R}$  ノ商体 = オケル

$\{x^{f_1}; N_1\} / \{x^{f_2}; N_2\}$  ナル元ノナス乘法群ト同  
型 = ナル。シカレテ束群ノ  $\geq 0$  ナル元ハ丁度コノ乘法群中  
 $\in \mathcal{R}$  ナルモノ = 對應スル。

今假 =  $\mathcal{R}$  がソノ商体 = オケル *speziell + Bewertungsringe* ノ *durchschnitt* = ナツテキルト  
スレバ *Bewertungen* ヲ我々ノ乘法群 = ツイテ考ヘ  
更 = 束群 = 移ツテミレバ、ソレハ我々ノ束群カ実數値ノ  
函数デ同型 = 表現サレタコト = ナル (單 = 準同型デナク、  
“同型” ナコトハスベテノ Wert が  $\geq 0$  ナラ  $\in \mathcal{R}$ 、從  
ツテ對應スル元ガ束群デ  $\geq 0$  ナルコトカラデアル)。コ



レハ矛盾。

ヨツテ  $R$  は *speziell* + *Bewertungsringe*  
1 *Durchschnitt* トハナリ得ナイ、故 = Krull  
ノ豫想ノ反例が得ラレタワケデアル。

—— 以上 ——